

水域類型の指定を行うために必要な基礎情報の概略

目 次

1	庄内川等水域	1
1-1	日光川	1
1-2	新川	2
1-3	五条川	3
1-4	庄内川	4
1-5	矢田川	5
2	名古屋市内水域	6
2-1	荒子川	6
2-2	中川運河	7
2-3	堀川	8
2-4	山崎川	9
2-5	天白川	10
3	境川等水域	11
3-1	境川	11
3-2	逢妻川	12
3-3	猿渡川	13
3-4	稗田川	14
3-5	高浜川	15
3-6	新川	16
3-7	長田川	17
3-8	半場川	18
3-9	朝鮮川	19
3-10	阿久比川	20
3-11	油ヶ淵	21
4	豊川等水域	22
4-1	豊川	22
4-2	宇連川	23
4-3	豊川放水路	24
4-4	音羽川	25
4-5	佐奈川	26
4-6	梅田川	27
4-7	汐川	28
5	天竜川水域	29
5-1	大千瀬川	29

1 庄内川等水域

1 - 1 日光川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
日光川	E類型	県道182号交差		×	×						無	泥砂		生物B	5 年 を 超 え る 期 間 で 可 及 的 速	
		田待橋		×	×							砂	落差工			
		日光川橋		×									泥砂			
		花福橋		×	×											
		板倉橋		×				16.7	24.4							
		北今橋		×				20.7	26.6							
		天王橋		×	×											
		西光橋		×	×											
		日光橋		×				18.4	28.4							
		御贄橋		×	×											
		日光大橋		×				18.7	29.2							
		日光川水閘門		×												水閘門

調査で確認された魚類 生物B該当種：フナ類、ドジョウ、トウヨシノボリなど

1 - 2 新川下流

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況		魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間	
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温							最高水温
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
新川 下流	E類型	比良新橋		×	×			17.1	26.6	無	砂 礫			生物B	直 ちに 達 成	
		丸中橋		×	×											
		新川橋		×				18.1	27.3							
		萱津橋		×	×			18.5	27.7		泥 質					
		日の出橋		×	×			18.4	28.5							

調査で確認された魚類 生物B該当種：ウグイ、オイカワ、ウナギ など

1 - 3 五条川下流

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	水温 ()							
				ヒアリング	調査結果	調査結果			平均水温	最高水温						
五条川 下流	E類型	朝日橋		×	×					無	礫石			生物B	で5 可年 及を 速る る期 間に	
		新富士見橋		×	×											
		木津用水横断		×	×							堰				
		待合橋		×	×			19.3	26.6							
		稲春橋		×				18.7	27.3							
		下之郷堰		×	×						堰					
		法界門橋		×	×						堰					

調査で確認された魚類 生物B該当種：オイカワ、フナ類、ドジョウ など

1 - 4 庄内川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
庄内川 中流 (1)	B類型	蛇ヶ洞川合流		×	×					16.1	27.7	岩盤 石	堰			
		城嶺橋		×												
		春日井市玉野台付近		×	×											
庄内川 中流 (2)	D類型	東谷橋		×	×					16.8	28.3	石 礫	堰 堰 堰 床止			
		大留橋		×												
		吉根橋		×												
		春日井市下津町付近		×												
		JR中央本線橋梁		×												
		水分橋		×	×			20.6	29.8							
庄内川 下流	D類型	新川中橋		×						19.2	29.6	砂 礫	頭首工 堰 床止			
		矢田川合流		×	×											
		JR東海道本線橋梁		×												
		枇杷島橋緑地		×												
		横井大橋		×	×											
		明德橋		×	×											
庄内新川橋		×				18.5	29.4			泥 砂	床止					

調査で確認された魚類 生物A該当種：(庄内川中流(2)) サツキマス
 生物B該当種：(庄内川中流(1)) オイカワ、ドジョウ、スジエビ など、(庄内川中流(2)) オイカワ、フナ類、ウナギ など、
 (庄内川下流) ウグイ、ウナギ、ボラなど

1 - 5 矢田川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
矢田川 上流	D類型	屋戸橋		×	×					無	礫 砂	落差工・堰	生物B	直 ちに 達 成		
		幡山橋		×								落差工・堰				
		高座橋		×	×							落差工				
		本地大橋		×								落差工				
		宮下橋		×				20.8	30.1			落差工				
		印場橋		×	×							落差工				
		大森橋		×				17.9	27.6			落差工				
矢田川 下流	D類型	千代田橋		×	×					無	礫 砂	落差工	生物B	直 ちに 達 成		
		守山川合流		×	×											
		天神橋		×				18.8	29.8							
		三階橋		×	×							床止				
		庄内川合流部		×								床止				

調査で確認された魚類 生物B該当種：(矢田川上流)オイカワ、ドジョウ、モクズガニ、(矢田川下流)オイカワ、フナ類、トウヨシノボリなど

2 名古屋市内水域

2 - 1 荒子川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
荒子川	E類型	新八田橋		×						無	石			生物B	直ちに 達成	
		境橋		×				21.6	28.7							
		寺起橋		×	×											
		荒中橋		×	×											
		入場橋		×								砂				
		土古橋		×												
		善進橋		×												
		荒子川ポンプ所		×	×			18.6	30.5				ポンプ所			

調査で確認された魚類 生物B該当種：オイカワ、トウヨシノボリ、スジエビ、テナガエビ

2 - 2 中川運河

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
中川 運河	E類型	堀止		×	×					無	泥	堀止		生物B	直ちに 達成	
		小栗橋		×												
		長良橋		×												
		野立橋		×												
		昭和橋		×	×											
		東海橋		×	×			19.1	31.0							
		いろは橋		×												
		中川橋		×												

調査で確認された魚類 生物B該当種：ボラ

2 - 3 堀川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
堀川	D類型	庄内川分流		×							無	砂		生物B	直ちに達成	
		瀬古橋		×	×											
		黒川樋門		×	×											
		夫婦橋		×	×											
		黒川1号橋		×	×											
		木津根橋		×	×											
		猿投橋		×	×			17.6	28.0							
		金城橋		×	×											
		中土戸橋		×	×											
		小塩橋		×	×			18.7	28.0							
		中橋		×	×											
		岩井橋		×												
		松重閘門		×												
		尾頭橋		×	×											
		旗屋橋		×												
		熱田記念橋		×												
		新堀川合流		×	×											
		紀左工門橋		×												
		きらく橋		×												
港新橋		×	×			20.6	30.1									

調査で確認された魚類 生物B該当種：ウグイ、オイカワ、ギンブナ、フナ類、コイ、ドジョウ、ナマズ、トウヨシノボリ、ウナギ、ボラ、スジエビ、テナガエビ、モクズガニ

2 - 4 山崎川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
山崎川	D類型	本山		×							無	コンクリ	落差工	生物B	直ちに達成	
		稲舟3号橋		×								石礫砂				
		日岡橋		×	×											
		広路橋		×												
		檀溪橋		×	×								礫砂			落差工
		鼎橋(かなえはし)		×	×			18.2	26.6							落差工
		可和名橋		×												
		山下橋		×	×											
		新瑞橋		×	×											
		師長橋		×												
		青峰橋		×	×											
		JR東海道新幹線橋梁		×									砂泥			
		忠治橋		×												
		道德橋		×	×			22.2	32.0							
東築地橋		×	×													

調査で確認された魚類 生物B 該当種：ウグイ、オイカワ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、フナ類、コイ、ドジョウ、ナマズ、トウヨシノボリ、ウナギ、ボラ、テナガエビ、スジエビ、モクズガニ

2 - 5 天白川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
天白川	C類型	下川田橋		×	×					無	石泥	落差工	生物B	直ちに達成		
		小原橋		×	×							取水堰				
		向山橋		×	×							取水堰				
		新本郷橋		×								落差工				
		本郷橋		×								落差工				
		岩崎川合流		×	×							落差工				
		野方橋		×	×							取水堰				
		梅森橋		×								落差工				
		新大正橋		×	×							落差工				
		天白川大橋		×								落差工				
		天白橋 (大藪)		×	×						落差工					
		天白小橋		×	×						落差工					
		新島田橋		×	×			21.0	29.7		落差工					
		天白緑地橋		×												
		野中橋 (天白川魚道)		×	×						落差工					
		平子橋		×	×											
		藤川合流		×	×											
		天白橋		×				19.3	29.9							
		大慶橋		×	×											
		JR東海道本線橋梁		×												
天白扇川橋		×														
千鳥橋		×				20.3	31.3									
天白大橋		×	×													
									砂							

調査で確認された魚類 生物B該当種：オイカワ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、フナ類、コイ、ドジョウ、ナマズ、トウヨシノボリ、ウナギ、ボラ、スジエビ、テナガエビ、モクズガニ

3 境川等水域

3 - 1 境川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
境川 上流	B類型	広久伝橋		×	×						無	礫 砂	落差工	生物B	直 ちに 達 成	
		寺田橋		×									落差工			
		東名高速道路橋梁		×									落差工			
		諸輪橋		×									落差工			
		通学橋		×	×								落差工			
		郡界橋		×									落差工			
		山伏橋		×									堰・落差工			
		伊勢湾岸自動車道橋梁		×									落差工			
		新境橋		×				18.6	30.8				落差工			
		境川 下流	C類型	清水橋		×	×									無
境大橋		×					17.9	29.8		落差工						
境橋		×		×												
境川橋		×														

調査で確認された魚類 生物B該当種：(境川上流) オイカワ、ギンブナ、フナ類、ドジョウ、ナマズ、オオヨシノボリ、スジエビ
(境川下流) オイカワ、フナ類、コイ、ナマズ、トウヨシノボリ、ウナギ、ボラ、テナガエビ、モクスガニ

3 - 2 逢妻川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
逢妻川 上流 (女川)	D類型	天王新橋		×	×						無	礫石	落差工	生物B	5 年 を 超 え る 期 間 で 可 及 的 速 や か に 達 成	
		男橋		×						落差工						
		東名高速道路橋梁		×						落差工						
		川端橋郡界橋		×						落差工						
		松竹橋		×	×					落差工						
		御乗替橋		×				18.7	30.2	落差工						
		中田橋		×	×					落差工						
		逢妻男川合流		×						落差工						
逢妻川 上流 (男川)		鴻ノ巣橋		×						落差工						
		前田橋		×						落差工						
		通学橋		×	×					落差工						
		宮前橋		×				19.2	29.4	落差工						
		石台橋		×	×					落差工						
		半ノ木橋		×						落差工						
逢妻川 上流		逢妻女川合流		×												
		逢妻大橋		×	×											
		弘法橋		×												
		西田橋		×	×											
		新逢妻川橋		×												
		逢妻川橋		×												
		JR東海道新幹線橋梁		×												
逢妻川 下流		境大橋		×				17.8	28.9							
		JR東海道本川橋梁		×												
		城町付近		×												
	市原橋		×				18.8	30.3								
	平成大橋		×													

調査で確認された魚類 生物B該当種：(逢妻川上流) オイカワ、コイ、ギンブナ、フナ類、ドジョウ、ナマズ、トウヨシノボリ、ウナギ、ボラなど
(逢妻川下流) 確認されていない

3 - 3 猿渡川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
猿渡川	D類型	東名高速自動車道		×							無	礫 砂	堰・落差工		生物B	直 ち に 達 成
		大橋		×	×								堰・落差工			
		伊勢湾岸自動車道橋梁		×									堰・落差工			
		清水下橋		×									落差工			
		猿渡川橋		×									落差工			
		弘法橋		×	×											
		JR東海道新幹線橋梁		×									落差工			
		三ツ又橋		×				17.8	28.4							
		ミササガ橋		×	×											
		猿渡大橋		×									砂 泥			

調査で確認された魚類 生物B該当種：オイカワ、コイ、フナ類、ドジョウ、ナマズ、ウナギ、ボラ、テナガエビ

3 - 4 稗田川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況		魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間		
				生物A該当種		生物B 該当種		生物A 該当種	生物B 該当種							平均水温	最高水温
				ヒアリング	調査結果	調査結果											
稗田川	C類型	高棚橋		×						無	コンクリ			生物B	直 ちに 達 成		
		土井ノ内橋		×							砂 礫						
		新高取橋		×	×												
		法響橋		×													
		稗田橋		×				18.0	28.5								
		高浜川合流部		×													

調査で確認された魚類 生物B 該当種：オイカワ、コイ、ドジョウ、ナマズ、トウヨシノボリ、ウナギ

3 - 5 高浜川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況		魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間	
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	水温()							
				ヒアリング	調査結果	調査結果			平均水温							最高水温
高浜川	C類型	油ヶ淵		×						無	礫			生物B	直 ちに 達 成	
		明治橋		×												
		一文字橋		×												
		高浜川水門		×								水門				
		高浜橋		×				18.9	29.6							
		汐留橋		×	×											

調査で確認された魚類 生物B 該当種：ボラ

3 - 6 新川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況		魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間	
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温							最高水温
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
新川	C類型	油ヶ淵		×						無	砂礫			生物B	直 ちに 達 成	
		曳船橋		×												
		新川樋門		×												
		権江橋		×	×											
		水門橋		×				19.1	30.3							
		港新川橋		×												

調査で確認された魚類 生物B 該当種：ボラ、テナガエビ

3 - 7 長田川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
長田川	C類型	安城橋		×						無	砂礫			生物B	直ちに達成	
		横山橋		×												
		記念橋		×	×											
		通学橋		×												
		国道23号線橋梁		×												
		榎前橋		×												
		大坪町2丁目付近		×												
		長田橋		×												
		澤水橋		×				18.2	28.0							
		油ヶ淵合流部		×												

調査で確認された魚類 生物B該当種：オイカワ、フナ類、コイ、ドジョウ、ナマズ、トウヨシノボリ、テナガエビ

3 - 8 半場川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況		魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間	
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温							最高水温
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
半場川	C類型	西ノ山橋		×						無	砂礫			生物B	直ちに達成	
		前川橋		×	×											
		隅田橋		×												
		国道23号線橋梁		×												
		宮下橋		×								砂礫				
		三月田橋		×												
		西海橋		×												
		坂下橋		×				17.2	28.0							
		朝鮮川合流		×												
		樋橋		×	×											
		油ヶ淵合流部		×												

調査で確認された魚類 生物B該当種：オイカワ、コイ、フナ類、ドジョウ、トウヨシノボリ、ウナギ、スジエビ

3 - 9 朝鮮川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	水温 ()							
				ヒアリング	調査結果	調査結果			平均水温	最高水温						
朝鮮川	C類型	明治用水横断		×						無	砂			生物B	的 5 年 以 内 に で 達 成 可 及	
		久々井橋		×	×											
		国道23号線橋梁		×												
		朝鮮橋		×												
		前田橋		×												
		坂下小橋		×			19.4	28.4								
		半場川合流部		×												

調査で確認された魚類 生物B該当種：オイカワ、フナ類、コイ、ドジョウ、トウヨシノボリ、スジエビ

3 - 1 0 阿久比川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
阿久比川	C類型	鎌池川合流		×							無	砂礫		生物B	直ちに達成	
		阿久比橋		×												
		白坂橋		×												
		坂部橋		×	×											
		卯之山橋		×												
		宮津橋		×												
		万栄橋		×												
		半田橋		×												
		JR武豊線橋梁		×												
		半田大橋		×				19.2	31.4							
		半田小橋		×	×											
		東雲橋		×												
		江川橋		×												

調査で確認された魚類 生物B該当種：オイカワ、フナ類、コイ、ドジョウ、ナマズ、トウヨシノボリ、ボラ、スジエビ、テナガエビ

3 - 1 1 油ヶ淵

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
油ヶ淵	湖沼B 類型	半場川合流		×						無	泥砂			生物B	直 ちに 達 成	
		上池右岸		×	×											
		見合橋		×	×											
		角建網		×	×											
		下池右岸		×	×											
		長田川合流		×												
		中央		×				17.2	29.7							
		高浜川		×												
		新川		×												

調査で確認された魚類 生物B該当種：オイカワ、フナ類、コイ、トウヨシノボリ、ボラ、テナガエビ

4 豊川等水域

4 - 1 豊川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
豊川 上流	AA類型	澄川合流				×					無	石 礫		生物A	直 ちに 達 成	
		大名倉橋							11.6	19.8						
		松戸橋			×	×										
		鶴淵							12.4	21.5						
		地獄 (当貝津川合流点下)														
		出合橋			×				14.1	25.7						
		布里堰堤			×				14.0	23.2						
		寒狭川頭首工			×											
		長篠堰堤			×	×										
		長篠橋			×	×			14.8	25.8						
		長篠大橋			×	×										
豊川 中流	A類型	牛淵橋			×	×			15.3	25.9	無	岩 盤 石		生物B	直 ちに 達 成	
		桜淵			×	×										
		石田			×				15.1	25.1						
		牟呂松原頭首工			×											
		江島橋			×	×			16.0	26.5						
		金沢橋			×	×										
		賀茂橋			×	×										
		三上橋			×	×										
当古橋			×	×			16.2	26.3								
豊川 下流	B類型	吉田大橋			×	×			17.0	27.8	無	砂				
		豊川河口			×											

調査で確認された魚類 生物A該当種(豊川上流):アマゴ、(豊川中流):サツキマス
 生物B該当種(豊川上流):ウグイ、ヨシノボリ類など、(豊川中流):オイカワ、フナ類など、(豊川下流):ウナギ、ボラなど
 放流された魚類 生物A該当種:アマゴ
 生物B該当種:ウナギ

4 - 2 宇連川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
宇連川	AA類型	鳳来湖						18.0	28.9	無	岩盤 石			生物A	直 ち に 達 成	
		宇連ダム										ダム				
		鳳来橋						15.3	23.7							
		柿平橋			×											
		宮下橋														
		養乙女橋			×											
		桐谷橋		×	×											
		大野頭首工		×				15.0	21.9			頭首工				
		黄柳川合流点下		×	×											
		文化橋		×	×											
		豊川合流点上		×	×								生物B	直 ち に 達 成		

調査で確認された魚類 生物A該当種：アマゴ
 生物B該当種：ウグイ、オイカワ、トウヨシノボリなど
 放流された魚類 生物A該当種：アマゴ

4 - 3 豊川放水路

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	水温 ()							
				ヒアリング	調査結果	調査結果			平均水温	最高水温						
豊川 放水路	C類型	豊川分流堰		×						無	砂石	堰		生物B	直 ち に 達 成	
		小坂井大橋		×	×			18.4	30.0							
		豊川放水路河口		×												

調査で確認された魚類 生物B該当種：ウナギ、ボラ、テナガエビ

4 - 4 音羽川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
音羽川	C類型	長沢橋		×	×					無	石 礫	堰・床固		生物B	直 ちに 達 成	
		御油大橋		×	×							堰・床固				
		為当橋		×	×							堰・床固				
		剣橋		×				17.9	27.8							
		永久橋		×	×											

調査で確認された魚類 生物B該当種：ウグイ、フナ類、コイなど

4 - 5 佐奈川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
佐奈川	D類型	東名高速道路下		×	×					無	礫砂	堰・落差工		生物B	5 年 以 内 で 可 及 的 に 達 成	
		荒古橋		×				15.8	26.3			堰・落差工				
		下佐脇橋		×	×							堰・落差工				
		柳橋		×				19.4	28.2			堰・落差工				
		浜田橋		×				18.1	28.1							

調査で確認された魚類 生物B該当種：オイカワ、フナ類、ナマズ

4 - 6 梅田川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況		魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間	
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温							最高水温
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
梅田川	C類型	飛越橋		×	×			17.5	27.6	無	礫 砂	堰		生物B	直 ちに 達 成	
		沢渡橋		×				18.1	28.3			堰				
		高田橋		×	×							堰				
		御厩橋		×				17.5	28.3							
		床固 (浜田川合流点上)		×	×						砂	堰				
		植田橋		×	×			18.9	30.2							

調査で確認された魚類 生物B 該当種：オイカワ、コイ、フナ類など

4 - 7 汐川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	水温()							
				ヒアリング	調査結果	調査結果			平均水温	最高水温						
汐川	E類型	幸田橋		×	×					無	礫 砂 砂泥			生物B	直 ち に 達 成	
		赤松一本橋		×	×											
		船倉橋		×				18.2	27.1							

調査で確認された魚類 生物B 該当種：オイカワ、フナ類、ドジョウなど

5 天竜川水域
5 - 1 大千瀬川

既存 水域名	既存 類型	地点名	環境 基準 地点等	水生生物生息状況		魚類放流		水温 ()		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間		
				生物A該当種		生物B 該当種		生物A 該当種	生物B 該当種							平均水温	最高水温
				ヒアリング	調査結果	調査結果											
大千瀬 川	AA類型	林橋								無	石		生物A	直 ち に 達 成			
		御殿橋						12.8	22.5		岩盤 石						
		振草頭首工										頭首工					
		浄水公園			×												
		常盤橋			×			13.4	24.1								

調査で確認された魚類 生物A 該当種：アマゴ
生物B 該当種：ウグイ、オイカワ、ドジョウなど
放流された魚類 生物B 該当種：ウナギ

凡例) [地点名] ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点
[環境基準地点等] : 水質環境基準地点、 : 補助点、 : 名古屋市環境保全条例に基づく調査地点
[水生生物生息状況] ヒアリング: 学識者からのヒアリング結果による生息範囲、調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点
[魚類放流] 漁協が魚類を放流している範囲
[水温] 平均水温: 平成19~23年度の年平均値の5年平均(新島田橋は平成19~21年度) 最高水温: 平成19~23年度の年最高値の5年平均(新島田橋は平成19~21年度)
[保護水面等] 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚子の生育場として保護が図られている水域など
[魚道] : 魚道あり